

パラアート（障がい者アート） 国際交流活動事業

公益財団法人 日本チャリティ協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-12 柳田ビル 3 階

助成事業の概要

対象：障害児及び障害者

障害者のアート活動には持続できる活動支援が必要とされています。障害者の芸術文化の環境整備と活動支援を推進し、障害理解を促し、アクセシビリティな WEB の活用と作品を通じた人の交流により、多様な社会へ向けて開催しています。第 12 回目を迎える「2025 パラアート TOKYO」国際交流展は、多くの障がい者アーティストに向けて参加を促し、障害特性に応じた質の高いパラアート作品を発表展示して、回を重ねるごとに芸術文化価値の認識を拡げています。

1. 主体事業 「2025 パラアート TOKYO」第 12 回国際交流展の開催

障害者（児）のアート作品を集め専門家による選考を通じ、障害特性に応じた質の高いパラアート作品を発表展示して、芸術文化価値の認識を拡げます。賞を設けて制作活動を奨励します。

（開催時期）2025 年 10 月 1 日～5 日（会期 5 日間）

（開催場所）東京芸術劇場（池袋）

2. 連動事業 1. 「パラアートバーチャルギャラリー」（WEB 連動型展覧会）の設営

3. 連動事業 2. パラアートワークショップ（講習）開催 対象障害者、障害児、児童、健常者

事業の成果

（来場者数）延べ 1、313 人

（作品展示）234 点（ゲスト 4 点、パラア

ート関西ガンバ大阪賞 3 点含む）

（応募数 国内より 951 点、外国 146 点団体推薦作品含む）

絵画作品 日本 124 点 ジュニア 14 点 海外 37 点 ジュニア 12 点

書作品 日本 13 点 海外 14 点（書画含）

造形作品 日本 13 点

（参加国）21 か国 1 地域（台湾）

表彰式 2025 年 10 月 1 日（水）16 時～17 時

入賞作家、入選作家や多くの関係者、都議員が主席して表彰式が行われました。

主催者の挨拶のあと審査委員長の講評、講習は参加した多くの作者が耳を傾け参考にしていました。

表彰式：パラアート賞（25 名）を設けることにより作家の向上心が芽生え、活動意欲が湧きます。パラアートジュニア賞 2 名、パラアート賞 15 名、パラアート企業賞 8 名にパラアート賞の表彰状と副賞を授与しました。

会場では自分の作品の前に作者が立ち鑑賞者と歓談し交流が生まれました。

本活動を通じたアート作品の芸術的価値の認識向上は、収益に繋がり障害者の自立を助長し、入選作品、入賞作品を組織や企業の CSR 事業と繋げ、SDGs の普及に役立てます。

WEB での展示（バーチャルギャラリー）の設営は会場に来れない方にも作品の鑑賞機会を提供できて、WEB の活用は障害者（障碍児）の活動範囲を拡げ若い親世代にも受けやすくし周知の拡大と参加を促すことができます。

今年度は活動環境を拡げるため講習（ワークショップ）の回数を増やした。

専門員によるワークショップでは交流、共感、創造と認識を高める学びの機会を提供

Instagram に投稿して WEB でも参加可能にした。

デジタルイラストマンガ、造形のワークショップ
10月5日、11月16日、12月7日、12月21日

10月5日は出来上がりを想像して身近な素材を自分で選び描くだけではなく貼り絵に挑戦した。

12月7日、12月21日はパラアートサポーターのナガイレーベン様から医者や看護婦の制服を作った時の端切れをいただいたので、それを活用して、リースや来年の干支の馬のイラストや自分の描いた作品を飾る額等自分のアイデアも取り入れて制作した。

絵画ワークショップ 芸術劇場 10月1～5日
7月15日、24日 11月18日 12月17日
新宿高田馬場福祉作業所

初心者に向けた絵画や造形活動に触れてみる機会とした。何をしたらよいかと、戸惑った方も2度目には進んで制作を楽しんでいた。継続していく成果が出てきました。

成果の広報、公表

「2025 パラアート TOKYO」第 12 回国際交流展広報等

1 日本チャリティ協会ホームページ、2025 パラアートギャラリー新設掲載

- 全出品作品等の紹介、広報活動

2 日本チャリティ協会広報誌「チャリティ・ニュース」配付

- 国際交流展の開催概要掲載による広報活動（発行部数：1,200 部）

3 国際交流展報告書（図録）作成

- 国際交流展図録送付による関係諸団体等への広報活動（発行部数：500 部）

4 国際交流展の新聞掲載等

- サッカーチームガンバ大阪のホームページにおいて、パラアート活動の紹介
- 「ガンバ大阪 × パラアート関西」ガンバ大阪スタジアムでの展示及び広報活動
- 期日：令和 7 年 9 月 23 日（祝）令和 7 年 9 月 27 日（土）

5 大阪万博でのパラアートのパラアート作品の活用と広報

6 パラアート国際交流事業として

- 韓国ソウルにおいて 2025 韓国、中国、日本の障害者アーティスト監視ランプ展の開催に参加
- イランホフマン国際フェスティバルにパラアート作品 5 作品を出展協力しました。

今後の展開

多様な社会へ向けての障害者、障害児の社会参加へはサステナブルな活動支援が必要とされています。

今後も障害のある方が芸術文化活動を通じて、社会とより広く関わりを持てる活動環境を提供し、その自立と社会参加を継続支援して、障害の有無に関わらず、お互いを尊重しながら共存共生の社会へ向けていくコンセプトで開催いたします。WEB の活用を広げて SNS や Instagram を通じ多くの方々に周知や参加する機会を増やし、生活文化としての認知、また、本活動を通じたアート作品の芸術的価値の認知向上は、収益に繋がり障害者の自立を助長し、入選作品、入賞作品を組織や企業の CSR 事業と繋げ、SDGs の普及に役立てています。

今後、さらにパラアート作品の価値の認知と作者の収益を計る場として作品即売やまた活動環境支

援として東京以外での開催に向け、サスティナブルに障害者の芸術活動環境の支援をして多様な社会へ向けます。

国際交流事業（「2026 パラアート T O K Y O (仮称)」国際交流展）の開催

会 期：2026 年 9 月～ 12 月予定

場 所：芸術劇場 ギャラリー他